

来待二百年の物語ふたたび

石州瓦 “和” のさらなる深み

彩り来待



島根県の地場産業である石州瓦は、江戸時代を起源とし、炎が偶然に生み出した赤褐色の独特の色合いの瓦。石州来待が始まりといわれます。

この石州来待瓦は凍てに強く、丈夫で割れない屋根材として重宝され、主に日本海沿線の寒い地域に普及しました。

今でも、地方都市の町屋街、港湾集落や山間の旧宿場町などに残る伝統的な和の町並みを見かけますが、石州来待で葺かれた街並みの多くは、独特の赤瓦の景観を私たちに見せてくれます。

そんな景観を島根路の魅力として未来に維持継承していくため、私たちは「彩り来待」を開発しました。

あえてこだわる 石州流もの造りの系譜

古くから継承されてきた造形を背景に
新しい様式美を創造する。
“和”という機能美をさらに深めていくことも
本物に通じる道に違いないであろう。



石州来待瓦「再生」

近代初頭まで、石州瓦は巨大な登り窯によって製造されていました。1300℃以上という高温焼成を可能にする登り窯は、瓦一枚一枚に微妙な成形の妙と色合いの違いを織りなし、石州来待瓦独特の「赤の景観」を形成してきました。それは計算されたものではなく、炎のムラによって生じる偶然の力の成せる技でした。職人達は何かこの「偶然の力」を手の内に入れようとしますが、それははるかに人智を超えた何かであったようです。

このたび提案する製品「彩り来待」は、やはり偶然の力には及ばないものの、人工的な計算を出来るだけ排除することで、かなり昔の石州来待葺き屋根に近づくことが出来たと思います。

石州瓦 和のさらなる深み「彩り来待」。未来に残したい製品です。

赤褐色、黒褐色の炎が創る来待の世界

一口に石州来待瓦と言いますが、登り窯時代のそれは、炎の強弱などによって、落ち着いた赤褐色、やや赤が強い色調、黒が強い色調など微細な色彩を持つことが特徴でした。こうした微細な色変化が、「石州の赤」と言われる独特の景観を、各地の街並みに残してきました。

わたし達は、この石州来待二百年の物語を再び、現代に伝えようとしています。

おそらく、それが石見職人の技を継承する道だと思ふからです。



施工事例
Neo classic
～古き伝承の新しい復活～



石州瓦が二百年もの時を継承してきた和瓦という機能美と個性的な色彩を組み合わせることで新たな表現を可能にしました。来待釉薬を使った赤の多彩な施工例をご覧ください。組み合わせによりあなただけの表現を手に入れることができます。



カラーバリエーション

※写真は印刷のため、実際の色と多少異なることがあります。

4色の赤瓦(来待色、茶来待色、赤来待色、黒来待色)の組み合わせや使用比率により、色調を自由に变化させることができます。



混ぜ暮らしカラーシミュレーター

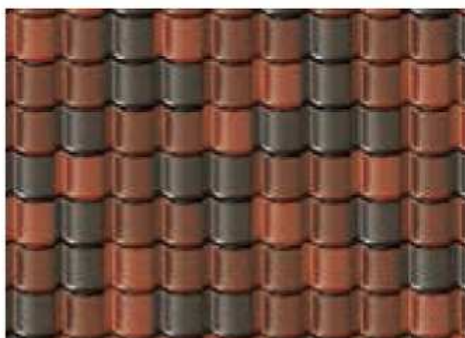
今まで面倒だった混ぜ暮らしの比率ごとのシミュレーションを簡単に確認できます。



- 来待5
- 茶来待1
- 黒来待4



- 来待1
- 茶来待4
- 黒来待1
- 赤来待4



- 茶来待5
- 黒来待3
- 赤来待2



- 来待1
- 茶来待4
- 黒来待3
- 赤来待2

粘土瓦の特性について

粘土瓦は天然のため、下記のような現象が発生する場合がありますが、製品欠陥ではなく、品質上の問題はまったくありませんので安心してご使用ください。

- 色ムラ** 粘土成分の微妙な違いや、焼成窯内の環境の変化により微妙な色合いが発生することがありますが、品質上の問題はありません。
- 貫入** 釉薬表面に発生する細かい亀裂を貫入といいます。これは粘土と釉薬の収縮率の違いから生まれる自然現象であり、品質上の問題はありません。
- ピンホール** 釉薬表面に発生する小さなへこみをピンホールといいます。これは釉薬の気泡や粘土に若干含まれている有機物が焼成によって消滅することで生まれますが、品質上の問題はありません。

安全に関するご注意

- 粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
- 寒冷積雪地域、強風地域、あるいは中高層の建築物では、特殊な工事を必要とする場合があります。こうした条件で粘土瓦を使う場合には、専門工事業者にご相談ください。
- 粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工事業者にご相談ください。

物に心を

丸惣 株式会社 丸惣

本社 / 〒695-0024 島根県江津市二宮町神主 1820 番地 5
TEL(0855)53-0811 FAX(0855)53-3623

益田支店 / 〒699-5133 島根県益田市神田町イ 627 番地 1
TEL(0856)31-5115 FAX(0856)25-2100

福井営業所 / 〒918-8016 福井県福井市江端町 5 番地 11
TEL(0776)34-8613 FAX(0776)34-8614

URL : <http://www.kawara.co.jp>

